

〒211-0035 川崎市中原区井田 3-10-31
公益財団法人 現代人形劇センター内

TEL : 044-777-2228 FAX: 044-777-3570
e-mail : deaf@puppet.or.jp URL: http://deaf.puppet.or.jp/

Twitter, Facebook もやっています！ Twitter DEAF_PUPPET Facebook 「デフ・パペットシアター・ひとみ」



by 大里千尋

日々制作..



by 吉村衣世

デフパペに入ったばかりのころ、それまで手話や耳の聴こえない人と出会ったこともなくコミュニケーションとれないじゃんと焦った私が、本を暗記し変な手話を使って会話をしてたときに、

“耳の聴こえない人のコミュニケーションの取り方は必ずしも手話だけではないよ。紙に書いてくれたり、口をゆっくり動かしてくれれば十分に伝わるよ。手話を覚えてくれたら嬉しいけど、コミュニケーションは歩み寄りが大切だと思うんだ。”

と善岡さんが声をかけてくれました。

その言葉にとっても救われましたが、つくづく何も知らなかったことに気づき、同時に、これからはもっといろいろな人と仲良くなれるのではないかと可能性をいっぱい感じて現在に至っています。

先日、「障害者は生きていても意味がない」という考えからの悲しい事件が起きました。

デフパペも作品を創り、共に公演を続ける中でケンカして、ぶつかること、腹立つこともたくさんありますが、それは障害があるから起きることではなく、社会の中にもあるひとりひとりの「違い」からうまれるもので、納得いくまで話しあったあとには、またみんなで稽古に励みます。

今私たちは社会に向けて、一緒に創るからこそこんなに素晴らしいものができるんだ！と思ってもらえるような同じ時間に一緒に楽しめる作品を作ること、それが何よりも大事だと思っています。

9月に千葉県東総文化会館にて「稲むらの火」の公演を実施します！東総文化会館のとなりの飯岡地区は、東日本大震災時津波で被害が大きかった場所です。震災時からずっと復興支援をされていた団体さんは、5年目を期に一度解散。しかし地元の若い人が自分たちの地域を見つめ直そうと集まって、iii project という団体を立ち上げました。下記は代表の大木さんからのメッセージです。

~~~~~

iii project という名前には、i(飯岡)にi(私)のi(愛)をとという意味が込められています。私たちは震災があった5年前、飯岡中学校の3年生で、卒業式を目前に控えていました。学校は1階まで浸水し、卒業式も延期、街の復興もままならないまま、皆新しい道へと進みました。そんな私たちの心の中にはいつも“飯岡のために何かしたい”という思いがあり、成人を迎えた今年の3月にメンバーの1人がSNSを通じて同級生のみんなに呼びかけました。1人、また1人と賛同する者が増え、現在13人で活動をしています。震災の経験を伝えるだけでなく、同じ被害を出さないために、そして旭市をより明るくするために、今後活動していく予定です。私たちの大好きな飯岡、旭市を盛り上げるために若者のパワーを注ぎます。

~~~~~

いま、彼らはたくさんの人を巻き込んで、また地元で様々な分野でずっと活動してきた方達の支えも受けながら、ひたむきに、まっすぐに活動しています。初めて飯岡に訪れた時、美しい海にあかーい太陽が沈んで、それがとてもきれいな色だったのが私の目に沁みついています。公演終了後はちょうど日没の時間です。

愛のこもった飯岡へ是非、お越しく下さい。

【夏★東北公演レポート】 by 榎本トオル

子どもたちの夏休みに、「一寸法師」公演とワークショップに、山形・岩手・宮城へ行きました。

山形では、デフパペの制作だった川崎さんのご協力があって新しい公演の形が実現しました。

併せて、盛岡では「難聴児と家族会」や、仙台では「ろう教育を考える会」の主催で公演しました。

一寸法師は、色々な年齢の方でも見れるし、小さな規模の作品なので身近な距離で見ても楽しめる作品です。このような、地方公演を今後もできたらと思いました。

★山形★7月24日

山形で「一寸法師」の公演をやりませんか？の一言で「交流創出グループark」が立ち上がりました。たくさんの親子連れで中にはろう学校に通っているろう児も親子で観に来てくれました。

★山形★7月25日

山形の学童に通う小学一年生と音のワークショップをやりました。

★天童★7月26日

「天童まいづる会」の皆さんに観て頂きました。

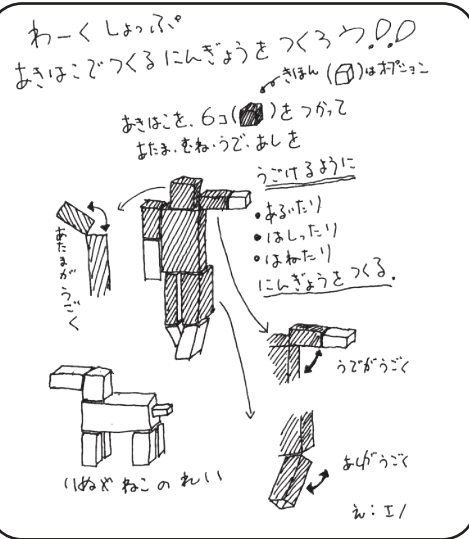
★寒河江★7月27日

ワークショップ劇中に三十二段返しの仕掛けを不思議に思った子が公演中に舞台を覗いたりしました。

★登米★7月28日

登米市ではワークショップや演劇やダンスが盛んときいて音ワークショップや空き箱を集めた、箱で人形をつくって動かしてみるワークショップを実施しました。発表は空き箱で作った人形で「大きなかぶ」をやりました。

【図解】空き箱人形作りワークショップ



★仙台★7月30日

今回の目的は、耳が聞こえない事って何？手話って何？ということをもっと市民の方にもっと広げる交流の場をつくるきっかけと出会いの公演でした。また、善岡のNHK「みんなの手話」の裏話等のトークショーやデフパペとの写真撮影もあり、盛り上がりました。

★盛岡★7月31日

一般学校に通っている難聴児と、「家族の会たんぽぽ会」の皆さんにも観てもらいました。

★名取★

いつもお世話になっている実行委員さんと交流会を楽しみました。

★山形★8月2日

昨年の夏、「さくらんぼ学童保育クラブ」の子どもたちと空き箱で人形づくりワークショップをしました。

今回は学童の子どもと「社会福祉法人わたしの会社」の皆さんと一緒に一寸法師の公演を楽しみました。

みなさん、ぜひまた会いましょう、じゃなくて、



3カ月に一度のこんにちは



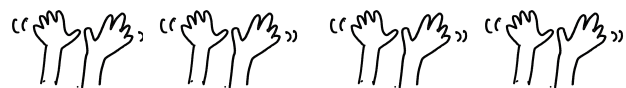
5月末から7月中旬、17の小学校で「はこ／BOXES」のWS付公演をした。

WS付というのは、公演の2〜3週間前（今回は5月末から6月中旬）にメンバー6人で学校に行き、段ボールの箱を使って何が出来るか、何に見立てられるか、子どもたちが小さなパフォーマンスを創って、私たちの公演の時（6月中旬から7月中旬）に発表する、というもの。

子どもたちは本当にいろいろな事を思いつく。黙って見ているとずうーっと終わらないもの（学校の授業風景を延々とやってた）があったり、あつという間に終わってしまって、でも、面白いものがあったり、楽しい楽しい。

でも、楽しいだけで終わってしまっはこのWSもったいないので、出来るだけアドバイスを。「箱の向きはこの方がいいよ」「観ている人にお尻を向けては何かをしているかわからないよ」「動きは大きくはっきり」など。

そして公演当日、発表前、自分たちのグループの出番を待ちながら「出たくねえよ〜」「ああ緊張する」とか言いながら、けっこう堂々とやってしまう。子どもたちはすごい！！（拍手！）



この時期の公演は、暑い暑い体育館の中。窓を開け、本来は全部閉めたい暗幕も一部開けて、風が通るようにする。体育館の中は明るくなる。暗転は明転になり、スライドを使用する今回の公演にとっては、・・・う〜ん・・・仕方がないのか・・・と言う思い。でも、出来るだけ何とかしたいとの思いで、ここだけはどうしてもスライドを綺麗に見せたいという場面では、スタッフの皆さんが暗幕を閉めに走ってくれたり、すてきな努力をしてくれた。子どもたちには気持ちが伝わったのか、とても良い反応をしてくれた。1・2年生と6年生では反応が違って、（特に戦争の事を現している場面など）やっている私たちがオモシロイ。

暑い暑い中、みんな本当によく観てくれました。ありがとうございました。

やなせ



デフ・パペットシアター・ひとみ友の会会員募集中!

★年会費 1,500円 ★ペア会員 2,500円

素敵な特典付き!

お気軽にデフパペ事務所までお問い合わせください。

